創立８０周年によせて

神奈川県知事

黒岩　祐治

協同組合高津工友会が創立 80 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和 21 年の創立以来、川崎市北部の地域産業の発展に貢献されるとともに、従業員の労働福祉の向上に取り組んでこられました。

戦後の混乱期における産業復興のための連携や物資の共同購入から始まった皆様の活動は、高度経済成長期における都市開発や公害問題など、様々な課題に地域と連携しながら対応してこられました。

また、平成５年には、県で初めてなされた異業種による協同組合への改組は、組織基盤の強化を図るだけでなく、常に時代の要請に応じて地域産業をリードする組合として大きな飛躍を遂げられたものと思います。

歴代の会長、理事長をはじめ、組合員の皆様方の長年にわたる御尽力に深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、長引く原油・原材料価格の高騰、産業全体の労働力不足や賃上げといった課題が県内経済に深刻な影響を及ぼす可能性があり、本県の地域経済や雇用を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

こうした中、県では、厳しい経営環境にある中小企業に対して、設備導入等による生産性向上の支援や従業員のリスキリング支援、人手不足業種の企業を対象としたセミナーや面接会の開催、外国人材確保への支援などに取り組んでいます。

また、働く意欲のあるすべての人々が、その能力を高め、新たなキャリア形成に挑戦できるよう、必要な職業能力開発の機会を提供するなど、輝きながら働くことができる神奈川の実現を目指し、地域の産業を支える人材育成に取り組んでいます。

皆様の活動基盤である川崎市域では、首都圏に位置し東京と横浜という巨大消費地に接している地理的優位性を生かしながら、国内外から集積する企業や研究機関を生かした国際競争力の高い産業の創出・育成などを進めるとともに、環境に配慮したまちづくりや安全で快適な生活空間の形成に向けた取り組みを進めてまいります。

皆様におかれましては、今後とも地域経済の活性化に御尽力いただくとともに、神奈川の産業を支える人材育成への御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの創立 80 周年を契機とした、協同組合高津工友会のますますの御発展と会員の皆様の更なる御健勝、御活躍を心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立８０周年をお祝いして

川崎市長

福田　紀彦

協同組合高津工友会の創立８０周年を心よりお祝い申し上げます。

貴組合は、戦後間もない昭和２１年、我が国が復興への歩みを始めた極めて困難な時代に、中小工場の共通課題解決、労務管理、労働災害防止などの経営近代化を目的に設立されました。その後、日本の高度経済成長期においては地域産業の担い手として本市の発展を支え、さらに経済の成熟化や国際競争の激化など、社会経済情勢が激変する中において、地域経済を推し進める原動力となってこられました。

とりわけ、近年においては、国際情勢の不安定化や原材料価格の高騰、新型コロナウイルス感染症の拡大による未曾有の困難に直面するなど、事業環境が日々厳しさを増しておりますが、そうした中で、現場に立ち、懸命に事業を継続されている姿に、私自身何度も励まされてまいりました。こうした困難な環境下にあっても、団結と相互扶助の精神のもと、果敢に挑戦を続け、本市の産業活動を力強く牽引してこられた皆様のご努力には、改めて深い敬意を表するものであり、大量生産の時代から、研究開発型・高付加価値型のものづくりへと質的転換を重ねながら、８０年もの長きにわたり、地域産業の礎を築き、発展に寄与してこられたことに、心から感謝申し上げます。

現在では、製造業、建設業、運送業、小売・飲食業など多様な業種にわたる約２５０社が加盟する協同組合として、研修会や異業種交流を通じ、地域に根差した中小企業の活動を力強く支えておられます。また近年においては、「かわさきＳＤＧｓゴールドパートナー」の認証を取得されるなど、脱炭素・ダイバーシティなど持続可能な社会の実現に向けた活動にも積極的に取り組まれております。とりわけ、青年部が中心となって立ち上げた「タカツクラフト」は、その象徴であり、知恵と技術を結集させ、新たなものづくりの可能性を追究してきたことが市内外から高い評価を受けております。このような評価は、地域の未来を切り開く次世代の経営者たちの活動の質の高さを示すものであり、本市の産業界に新たな希望の灯をともすとともに、８０年の歩みが次世代へ確かに継承されている証であります。

さて、本市では、時代の変化に即して持続的な発展を遂げていくため、めざす将来の姿を示し、その実現に向けた取組を体系的にとりまとめた「川崎市総合計画」を令和８年３月に改訂いたしました。川崎市総合計画に基づき、「最幸のまち　かわさき」の実現に向けた新たな挑戦が始まります。本市の発展を支えてきた中小企業の皆様とともに、持続可能な成長と地域の未来を切り拓いてまいりたいと考えておりますので、今後とも引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨今のＡＩの進化を背景に、ＡＩトランスフォーメーション（ＡＸ）の推進が、企業の競争力強化において重要な要素となるなど、ビジネスの構造が大きな転換期を迎えております。こうした時代の潮流に対応しつつ、これまで８０年にわたって積み重ねてこられた、会員企業同士の連携と相互支援の営みを活かして、更なる技術の高度化や製品の高付加価値化など、新たな事業の可能性が拓かれ、本市経済の発展につながっていくことを心より願っております。

結びに、創立８０周年を機に、貴組合がこれまでの歩みを礎として、今後ますます発展されますとともに、会員の皆様方のご健勝とご活躍、ご繁栄を心より祈念し、お祝いのご挨拶といたします。

創立８０周年に寄せて

川崎商工会議所会頭

窪田　雅己

協同組合高津工友会が創立８０周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。
貴会の皆様には、日頃から当商工会議所の事業に対し、力強いご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昭和２１年の発足以来、８０年の長きにわたり地域産業の振興発展のため、異業種の交流をはじめ会員事業所の労務管理の改善や福利厚生の向上、雇用の安定、労働災害防止など多岐にわたる事業を積極的に展開され、企業及び業界の発展に多大な貢献をされてきました。
加えて地域貢献活動にも意欲的に取り組まれ、特に赤い羽根共同募金では、高津区社会福祉協議会からの呼びかけに応じ、募金活動への協力を行うなど、地域の中心的な存在であり大きな力となっていると伺っております。

８０年という歳月は、単なる時間の積み重ねではなく、容易には語り尽くせない価値を内包しています。その間、「激動の時代」という荒波に流されることなく、１社ではなし得ないことも仲間とともに挑み、常に先見性と戦略性をもって事業を推進してこられました。

現在では約２５０社が参画し、多方面で確固たる成果を創出されていることは、山田理事長をはじめ歴代の役員、会員の皆様が注いでこられた熱意と不断の努力の結実であり、その歩みに深い敬意を表します。
現在、日本では次世代を見据えた新領域への挑戦や、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが急速に進展しており、川崎市はその最前線に立つ存在となっています。

そして、この未来を切り拓く推進力となっているのは、世界に誇るものづくり都市・国際産業都市の発展を支えてこられた貴会の皆様が有する高度な専門性、揺るぎない情熱、そして積み重ねた経験による価値創造力にほかならず、その存在意義は極めて大きいものがあります。

こうした環境変化の中で、会員の皆様が持つネットワークを結集し、若手経営者が中心となって立ち上げられたタカツクラフトは、業界の構造的課題に真正面から挑む革新的な取り組みとして高く評価されています。

人手不足、職人の高齢化、事業承継といった深刻な課題が顕在化する中で、独自の事業を展開されていることは、業界にとっても大きな刺激であり、地域経済の持続的成長に寄与する極めて意義深い取り組みであると強く感じております。

川崎商工会議所は、地域総合経済団体として、「変革への挑戦と持続可能な成長の支援」を柱に掲げ、様々な事業を展開しております。デジタル技術の社会実装による「生産性向上の推進」や、多様な人材が活躍できる「職場環境の整備と人材育成」、さらには「脱炭素社会に向けた経営転換の支援」などを通じ、変化の激しい時代においても揺るぎない、中小企業の「稼ぐ力」を最大化するための多角的な伴走型支援を進めてまいります。

地域の活性化には中小企業の成長・発展が不可欠です。

今後も高津工友会の皆様と連携をさせていただくとともに、各種施策を通して、中小企業の持続的成長を支援し地域経済の振興・発展に寄与してまいりますので、これまで以上のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この度の８０周年を機に、より一層の飛躍と会員の皆様のますますのご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

創立８０周年をお祝いして

神奈川県中小企業団体中央会会長

森　　洋

協同組合高津工友会が創立８０周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴組合は、戦後復興期の昭和 21 年に創設され、その後の高度成長期、バブル期、平成の低成長期といった激動する社会経済情勢の波を乗り越え、それぞれの時代の要請に応えながら、組合員の経済的・社会的地位の向上はもとより地域経済の発展に多大な貢献をされ、貴組合も目覚ましい発展を遂げられました。

これも歴代の理事長をはじめとする役員の皆様の時勢を見極めたご英断、組合員の皆様の弛まぬご努力、そして職員の皆様の献身的なご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

これまでの間、貴組合では、組合員間の受発注を活発化させる「受発注支援交流事業」、労働保険事務組合の事業を含めた共同労務管理、時節に応じた教育情報事業、組合員の福祉向上や交流を促進する福利厚生事業等を実施されてきました。また、青年部の皆様を中心に立ち上げられた「タカツクラフト」は、個々の組合員が単独では受注困難な業務を共同で受注することで、組合員の新たな受注機会の確保を実現するとともに、顧客が求める多様な技術・アイデアや、ものづくりの課題に対し、ワンストップ対応を可能にする体制も整備されています。これらの取組みは、組合員の皆様の事業発展に寄与しており、その功績は誠に大きなものがありますし、まさに組合組織として連携の力を体現するもので、他の組合の模範となるものです。

さて、近年、中小企業は、人手不足、物価・人件費の上昇、ＡＩなどの急速な技術革新への対応、事業承継など、多くの課題に直面しております。そうした中で、現下の経済情勢としては、中東情勢の緊迫化などにより世界経済の先行きが不透明な状況となっており、回復基調を維持してきた国内経済にマイナス影響が及びつつあります。

このような厳しい状況にありますが、貴組合におかれては、組合員の連携をより一層強固にして新たな活力を創出し、難局を乗り越えられるものと確信しています。

結びに、貴組合が、これまでの歩みの中で積み重ねてこられた素晴らしい実績を礎に、創立８０周年という節目を新たな出発点として、未来を見据えた挑戦を続け、組合員の皆様とともに更なる飛躍を遂げられますことを心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。